



株主のみなさまへ

第86期 中間報告書

平成20年4月1日から平成20年9月30日まで



CONTENTS

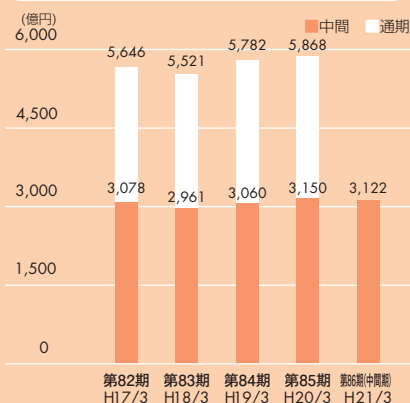
連結財務ハイライト	1
株主のみなさまへ	2
連結事業概況	3
個別部門別事業概況	4
TOPICS	6
連結財務諸表	7
新商品紹介	9
会社概要／株式情報	10



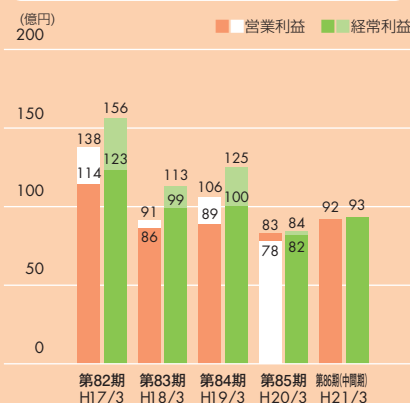
森永乳業株式会社

証券コード 2264

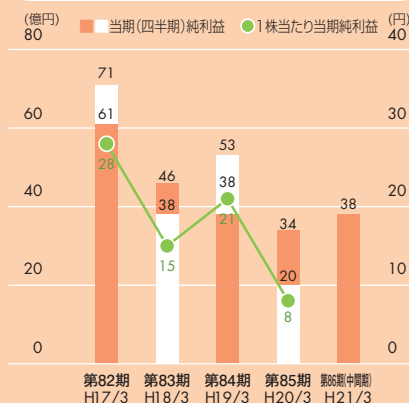
売上高



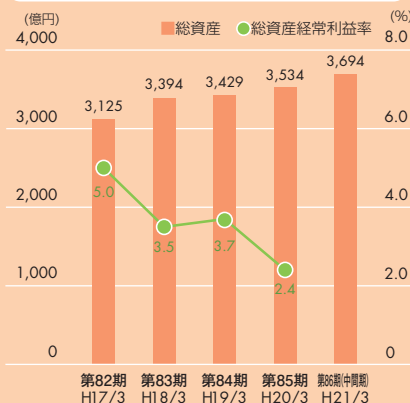
営業利益/経常利益



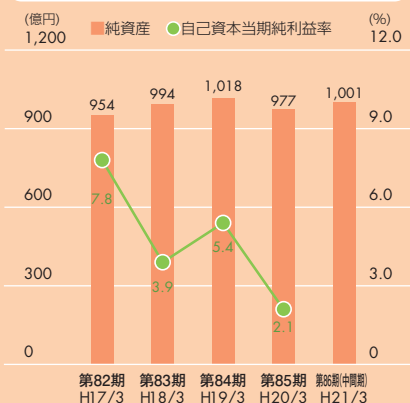
当期(四半期)純利益



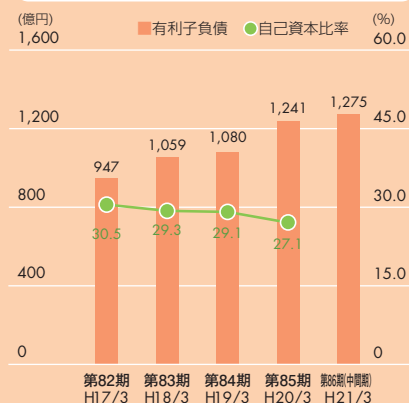
総資産/総資産経常利益率



純資産/自己資本当期純利益率



有利子負債/自己資本比率



(単位：億円未満切り捨て)

科目	第82期 (H17年3月期)	第83期 (H18年3月期)	第84期 (H19年3月期)	第85期 (H20年3月期)	第86期中間期 (H21年3月期中間期)
売上高	5,646	5,521	5,782	5,868	3,122
営業利益	138	91	106	78	92
経常利益	156	113	125	84	93
当期(四半期)純利益	71	38	53	20	38
総資産	3,125	3,394	3,429	3,534	3,694
純資産	954	994	1,018	977	1,001

(注) 1. 有利子負債の第86期(中間期)には、リース債務を含めて記載しております。
2. 上記の経営指標については、通期のみ記載しております。

株主のみなさまへ

株主のみなさまには平素より格別のご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。

当中間期(平成20年4月1日～平成20年9月30日)におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発した米国経済の減速や原油・原材料価格の高騰などの影響を受け、民間設備投資の低迷や個人消費も伸び悩むなど、景気の停滞感が一段と高まりました。

食品業界におきましても、需要が伸び悩むなかで原材料コストの大幅な上昇に加えて、消費者の生活防衛意識が強まるなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもとで、当社グループは、お客様のニーズに応えた商品の開発、改良に努めるとともに、原材料コストの大幅な上昇を吸収するために、商品価格の引き上げとその浸透に努めてまいりました。また、一方で販売促進策の効率化や生産・物流の一層の合理化などを進めてまいりました。

これらの結果、森永乳業の売上高は牛乳類、チーズ、アイスクリームなどが前年同期実績を上回りましたが、商品価格の改定による数量減などの影響もあり、トータルでは前年同期実績を下回りました。また、連結子会社の売上高は前年同期実績を上回りましたが、当社グループの連結売上高では前年同期実績をやや下回りました。連結の営業利益、経常利益、四半期純利益は、原材料価格の上昇による影響を、商品価格の改定に加え徹底した営業活動の効率化や合理化によるコスト削減で吸収をはかった結果、前年同期実績を上回りました。

当中間期の連結売上高は3,122億7千5百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益は92億4千1百万円(前年同期比11.2%増)、経常利益は93億1百万円(前年同期比

12.1%増)、四半期純利益は38億9千2百万円(前年同期比12.7%増)となりました。

米国の金融危機による景気の後退の影響を受け、今後のわが国経済は景気低迷の長期化が懸念されております。また、物価の上昇と所得の伸びの乖離により個人消費についても先行きに対する不透明感が強まっております。

食品業界におきましても、消費者におけるニーズが多様化する一方で、生活防衛意識の強まりや原材料コストの一層の上昇などが懸念され、経営環境は依然として厳しいものが予想されます。

これらに対処するために、当社グループは、商品価格の改定を実施するとともに、伸ばすべき商品の売上拡大による収益力向上、一層のローコストオペレーションの徹底を重点課題として取り組んでおります。

特に商品開発におきましては「おいしいをデザインする」というスローガンのもと、消費者のニーズにあった価値のある商品の提供に努めてまいります。併せて品質保証体制の一層の強化に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



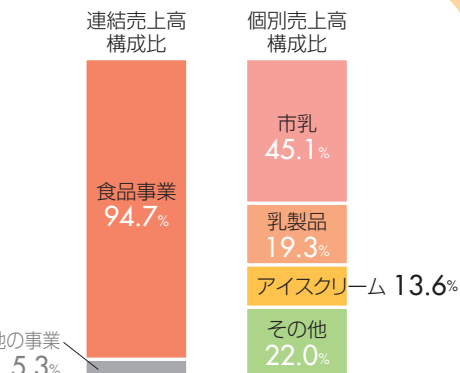
平成20年12月

代表取締役社長

古川 純一

- 売上高 3,122億75百万円(前年同期比 0.9%減)
- 営業利益 92億41百万円(前年同期比 11.2%増)
- 経常利益 93億 1百万円(前年同期比 12.1%増)
- 四半期純利益 38億92百万円(前年同期比 12.7%増)

※連結売上高構成比は、セグメント間の部門間取引消去前の売上高に基づいて算出しております。



森永乳業グループの状況

森永乳業グループは、当社、子会社75社および関連会社12社で構成され、市乳、乳製品、アイスクリーム等の食品の販売を中心に、さらに飼料、プラント設備の設計施工、その他の事業活動を展開しています。

食品事業では、当社が製造販売するほか、当社が販売する商品の一部をエムケーチーズ(株)、横浜乳業(株)、東洋乳業(株)、北海道保証牛乳(株)ほか18社に委託製造を行なっています。また、(株)デイリーフーズほか28社は、主として当社より商品を仕入れ、全国の得意先に販売しています。

その他の事業では、森永酪農販売(株)が飼料、(株)森乳サンワールドがペットフードの仕入販売を行なっています。また、森永エンジニアリング(株)ほか33社は、プラントの設計施工、不動産の賃貸、運輸倉庫業などを行なっています。

森永乳業グループ部門別の状況

部門別の状況(部門間取引消去前)は次のとおりです。

食品事業(市乳、乳製品、アイスクリーム、飲料など)

当中間期の売上高は3,003億9千4百万円(前年同期比0.8%減)となり、また、営業利益は169億1千4百万円(前年同期比5.3%増)となりました。

その他の事業(飼料、プラント設備の設計施工など)

その他の事業につきましては、売上高は168億3千5百万円(前年同期比3.7%減)となり、また、営業利益は15億4千5百万円(前年同期比8.6%減)となりました。

個別売上高の状況

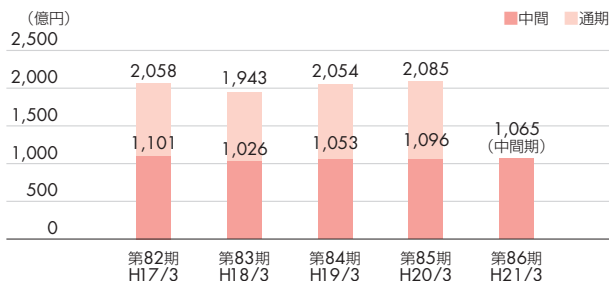
当中間期の当社の売上高は2,364億4千8百万円(前年同期比1.2%減)となりました。

部門別の売上高の状況は次のとおりです。

個別部門別事業概況 FINANCIAL RESULTS by SEGMENTS

市乳 45.1%

売上高 1,065億42百万円 (前年同期比 2.8%減)



当部門は、牛乳類、乳飲料等、ヨーグルト、プリン等で構成されます。

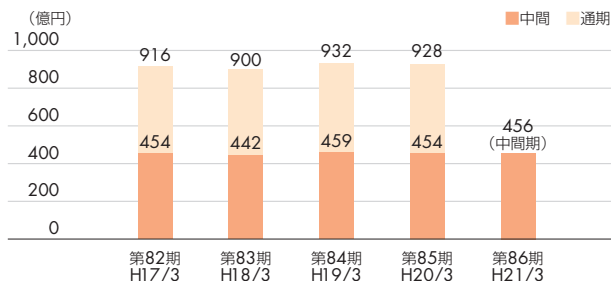
「森永のおいしい牛乳」シリーズは前年同期実績を下回りましたが、新商品の「カルシウムの達人」の売上増などにより、牛乳類全体では前年同期実績を上回りました。一方、「マウントレーニア」シリーズなどの乳飲料等、ヨーグルト、プリン等は前年同期実績を下回りました。

これらにより、市乳の売上高は1,065億4千2百万円(前年同期比2.8%減)となりました。



乳製品 19.3%

売上高 456億80百万円 (前年同期比 0.5%増)



当部門は、練乳、粉乳、バター、チーズで構成されます。

練乳、チーズは前年同期実績を上回りましたが、乳児用ミルク「森永ドライミルクはぐくみ」や「クリープ」などの粉乳、バターは前年同期実績を下回りました。

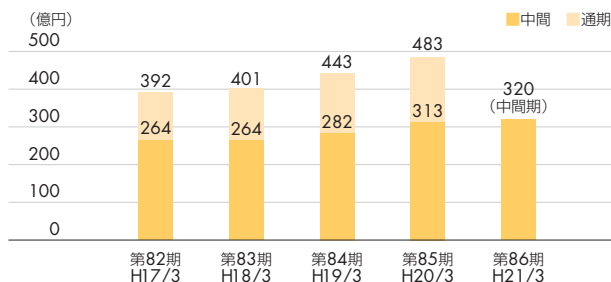
これらにより、乳製品の売上高は456億8千万円(前年同期比0.5%増)となりました。



個別部門別事業概況 FINANCIAL RESULTS by SEGMENTS

アイスクリーム 13.6%

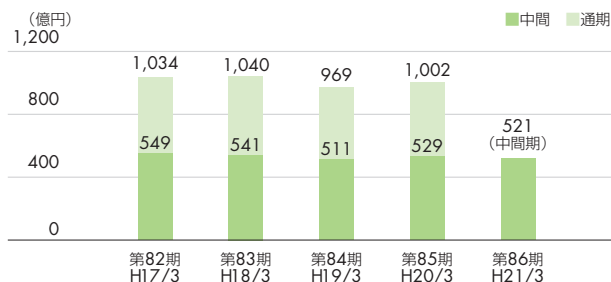
売上高 320億81百万円 (前年同期比 2.4%増)



「PARM(パルム)」、「ピノ」、「クリスピーナ」などが前年同期実績を上回り、アイスクリームの売上高は320億8千1百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

その他 22.0%

売上高 521億44百万円 (前年同期比 1.5%減)



リプトンフルーツティーや流動食は好調に推移しましたが、果汁飲料、ゼリーの売上減などにより、その他部門の売上高は521億4千4百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

製品情報



PARM(パルム)



ピノ



クリスピーナ

製品情報



ベビーフードシリーズ



リプトンフルーツティー

別海工場チーズ新棟が稼動

当 社は、国産ナチュラルチーズの増産に向けて、2006年11月より北海道の別海工場敷地内にチーズ新棟の建設を進めておりましたが、このたび完成し、今年6月より生産を開始しました。

ナチュラルチーズは、消費の伸びが期待できる有望な市場であり、国産ナチュラルチーズの増産により酪農・乳業全体の競争力強化と発展をめざし、今回、既存棟の設備増強とともに、約86,500㎡の敷地内にチーズの専門棟を新設しました。

新棟は、延べ床面積約13,900㎡の広さで、「最新技術による高い生産性の実現」「高品質な製品の生産と安

全・安心の追求」「環境への配慮」「将来スペースを十分に確保した設計」というコンセプトのもと、「フレッシュモッツアレラ」など、フレッシュタイプのチーズを中心に増産に取り組んでまいります。



TOPICS

「森永アロエヨーグルト」がモンドセレクション金賞を受賞



「カ ラダのキレイをつくる」というコンセプトで販売中の「森永アロエヨーグルト」は、1994年12月の発売以来、ご好評をいただいているロングセラーのフルーツヨーグルトです。

今年6月、「森永アロエヨーグルト」がオーストリアのウィーンで開催された「2008年 第47回モンドセレクション」の乳製品カテゴリーにおいて、その品質を高く評価され、金賞を受賞しました。1961年から続くモンドセレクションは、世界的に権威のある食品品評会であり、当社は今回初めて受賞の栄誉に輝きました。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目	当中間期 平成20年9月末	前期 平成20年3月末
① (資産の部)		
流動資産	124,311	110,262
固定資産	245,127	243,211
有形固定資産	213,689	211,052
無形固定資産	3,975	3,788
投資その他の資産	27,462	28,370
資産合計	369,438	353,474
② (負債の部)		
流動負債	153,977	142,710
固定負債	115,321	113,015
負債合計	269,298	255,726
③ (純資産の部)		
株主資本	97,514	95,164
資本金	21,704	21,704
資本剰余金	19,443	19,446
利益剰余金	56,807	54,433
自己株式	△441	△420
評価・換算差額等	548	462
新株予約権	105	79
少数株主持分	1,971	2,042
純資産合計	100,139	97,747
負債純資産合計	369,438	353,474

前期比較

① 資産

資産の部は、現金及び預金の増加に加え、連結子会社である沖縄森永乳業株式会社の設備投資による有形固定資産の増加などにより、前期末に比べ159億6千4百万円増加の3,694億3千8百万円となりました。

② 負債

負債の部は、仕入原材料やその他の経費の未払債務の増加などにより、前期末に比べ135億7千2百万円増加の2,692億9千8百万円となりました。

③ 純資産

純資産の部は、主として利益剰余金の増加により、前期末に比べ23億9千1百万円増加の1,001億3千9百万円となりました。

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結損益計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科目	当中間期 自 平成20年4月 1日 至 平成20年9月30日	前中間期 自 平成19年4月 1日 至 平成19年9月30日
売上高	312,275	315,010
売上原価	219,834	220,779
売上総利益	92,440	94,230
販売費及び一般管理費	83,199	85,920
④ 営業利益	9,241	8,310
営業外収益	1,252	1,160
営業外費用	1,192	1,172
④ 経常利益	9,301	8,299
特別利益	515	650
特別損失	1,343	1,496
税金等調整前四半期純利益	8,472	7,452
法人税、住民税及び事業税	4,579	3,928
少数株主利益(減算)	0	71
④ 四半期純利益	3,892	3,452

前年同期比較

④ 営業利益・経常利益・四半期純利益

売上高は、商品価格の改定による売上数量減少の影響が大きく、前年同期を下回りましたが、利益面では、原材料価格上昇の影響を、商品価格の改定に加え徹底した営業活動の効率化や合理化によるコスト削減で吸収をはかった結果、前年同期に比べ営業利益は9億3千万円増の92億4千1百万円、経常利益は10億2百万円増の93億1百万円、四半期純利益は4億3千9百万円増の38億9千2百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科目	当中間期 自 平成20年4月 1日 至 平成20年9月30日	前中間期 自 平成19年4月 1日 至 平成19年9月30日
⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー	31,466	19,886
⑥ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,236	△17,084
⑦ 財務活動によるキャッシュ・フロー	562	2,220
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	10
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	15,806	5,033
現金及び現金同等物の期首残高	3,974	3,759
連結子会社増加に伴う現金及び現金同等物の期首残高増加額	—	3,679
連結子会社減少に伴う現金及び現金同等物の期首残高減少額	—	△10
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,780	12,461

前年同期比較

⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業収入が増加したことに加え、未収の売上債権が減少したこともあり、前年同期に比べ115億8千万円増の314億6千6百万円の収入となりました。

⑥ 投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出は増加しましたが、投資有価証券の取得による支出の減少がそれを上回ったため、前年同期に比べ8億4千8百万円支出減の162億3千6百万円の支出となりました。

⑦ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主として、当期間中の有利子負債の収支の差が、前年同期に比べ16億5千8百万円減の5億6千2百万円の収入となりました。

New Product Lineup

アイスクリーム

チルドドリンク

森永カルシウムの達人

白物乳飲料初！ 疾病（骨粗鬆症）
リスク低減表示トクホ。



マウントレニア プレミアムノンシュガー

プレミアムシリーズからノンシュ
ガータイプが新登場。



リプトン エクストラショット

厳選ウバ茶葉を使用し、紅茶の風
味がしっかりととききたミルク
ティー。



エスキモー MOW (モウ) Extra Taste

ワンランク上のおいしさがお楽しみいただける、
ミニカップマルチ。

チルドデザート

Eお母さん ポタージュタイプ

葉酸、鉄分、Ca、12種類のビ
タミン、食物繊維配合のスープ。



栄養食品

チルド乳製品

クラフト パルメザン入り とろけるチーズ

パルメザン入りのプロセスタ
イプのシュレッドチーズ。



森永アセロラ アロエヨーグルト

アロエヨーグルトにアセロ
ラ果汁のほどよい甘酸っぱ
さをプラスしました。



スイートスプーン たっぷりホイップ& カスタードプリン

やわらかなホイップクリー
ムをトッピングした手作り
風デザート。

果実が食べたい！ ぎっしり グレープフルーツ

つぶつぶの果肉が入った柑橘類の
さわやかな味わいを楽しめます。



会社概要 (平成20年9月30日現在)

商号 森永乳業株式会社
MORINAGA MILK INDUSTRY CO.,LTD.

創業年月日 大正6年9月1日 (日本煉乳株式会社)

設立年月日 昭和24年4月13日

資本金 21,704,355,355円

従業員数 3,165名

会計監査人 新日本有限責任監査法人
東京都千代田区内幸町二丁目2番3号日比谷国際ビル

主要な事業内容 市乳(牛乳、乳飲料、ヨーグルト、プリン)、乳製品(練乳、粉乳、バター、チーズ)、アイスクリーム、飲料、流動食などの製造・販売
飼料、プラント設備の設計施工など

ホームページアドレス <http://www.morinagamilk.co.jp/>

株式の状況 (平成20年9月30日現在)

発行可能株式総数 720,000,000株

発行済株式総数 253,977,218株(自己保有株式1,124,441株を含む)

株主数 36,898名

大株主 (平成20年9月30日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
森永製菓株式会社	26,248	10.38
株式会社みずほ銀行	12,431	4.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	10,275	4.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	8,960	3.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4G)	7,903	3.12
株式会社みずほコーポレート銀行	7,303	2.88
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,942	2.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井アセット 信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	6,644	2.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	6,188	2.44
三菱UFJ信託銀行株式会社	4,617	1.82

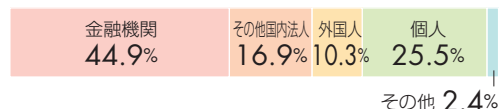
(注) 出資比率は発行済株式総数から自己株式数を控除した数に基づき算出しております。

役員 (平成20年11月30日現在)

代表取締役専任 取締役専任 取締役専任 取締役専任 取締役専任 取締役専任
代表取締役専任 取締役専任 取締役専任 取締役専任 取締役専任 取締役専任
代表取締役専任 取締役専任 取締役専任 取締役専任 取締役専任 取締役専任
代表取締役専任 取締役専任 取締役専任 取締役専任 取締役専任 取締役専任
代表取締役専任 取締役専任 取締役専任 取締役専任 取締役専任 取締役専任
代表取締役専任 取締役専任 取締役専任 取締役専任 取締役専任 取締役専任

大古川 野川 晃一
片岡 岡 一好
宮原 井口 伸
石野 井口 道
八木 木村 純
高文 屋 正
八重田 重 康
武山 敏
山 信

株式分布状況 (株主数36,898名)



株式のご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
配当金受領株主確定日 毎年3月31日
公告方法 当会社の公告は、電子公告により行ないます。
事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行ないます。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(連絡先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号
(F137-8081)
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き(住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買増・買取請求等)に必要な各用紙のご請求につきましては、下記の電話ならびにインターネットにより24時間承っておりますので、ご利用ください。

なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご留意ください。

TEL 0120-244-479 (フリーダイヤル)
インターネットアドレス <http://www.tr.mufug.jp/daikou/>



ミルク生まれ。

クリープのおいしい「ヒミツ」

クリープは1961年の発売以来、牛乳から生まれた成分で作る事を原点としています。
ミルク生まれの甘みと、豊かなコクはクリープがこれからも守り続けていくおいしさのヒミツです。



平成21年1月5日施行予定の株券電子化実施に伴うお知らせ

1. 特別口座について

株券保管振替制度をご利用でない株主さまへは、特別口座に記録された株式数等のご案内を、平成21年2月中旬頃に、三菱UFJ信託銀行から、お届けのご住所宛にお送りする予定です。

2. 株券電子化前後における単元未満株式買取・買増のご請求について

株券電子化の前後においては、単元未満株式買取請求ならびに買増請求につきまして、以下のとおりとなりますのでご留意ください。

(1) 保管振替制度をご利用でない単元未満株式に関するご請求

① 単元未満株式買取請求

平成21年1月5日(月)から平成21年1月25日(日)までは受付をいたしません。

また、平成20年12月25日(木)から12月30日(火)までのご請求受付分につきましては、買取価格はご請求受付日の終値を適用いたしますが、買取代金のお支払いは平成21年1月30日(金)となります。

② 単元未満株式買増請求

平成20年12月12日(金)から平成21年1月25日(日)までは受付をいたしません。

(2) 保管振替制度をご利用の単元未満株式に関するご請求 株券電子化実施の前後において、一定期間お取引の証券会社で取次を行わないと承っております。

具体的な日程は証券会社により異なることが考えられますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。

3. 株主さまのご住所およびお名前のご登録について

株主さまのご住所およびお名前の文字に、振替機関(証券保管振替機構)で指定されていない漢字等が含まれている場合には、その全部または一部を振替機関が指定した文字に置き換えるうえ、株主名簿にご登録いたします。この場合、株主さまにお送りする通知物の宛名は、振替機関が指定した文字となりますのでご了承ください。

株主優待のお知らせ

平成20年9月30日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載又は記録された1,000株(1単元)以上ご所有の株主のみなさまに、11月下旬より当社商品「絹ごしとうふ」をお届けしております。

まだお受取りになられていない株主さまは12月末日までにご連絡をお取りくださいますようお願いいたします。

ご注意 当社は中間配当制度を採用しておりません。



おいしいをデザインする

森永乳業株式会社

東京都港区芝五丁目33番1号

電話03-3798-0111

